

3類型	農林水産物	番号	8-24-007
地域資源名	びわ	認定日	平成25年2月4日
地域	長崎市、西海市、時津町	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名：茂木びわの種を活用した独自の焙煎加工による
びわ種茶の開発及び販路開拓

会社名：株式会社スカルパ

所在地：長崎県長崎市岩川町2-3

連絡先：TEL:095-844-0338

FAX:095-844-0348

H P: <http://scarpa.co.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

長崎県の「茂木びわ」は全国有数の生産量を誇る高品質なびわとして知られている。このびわの「種」を新たに活用した風味豊かな「びわ種茶」を開発した。丁寧な下処理と独自の焙煎技術に工夫を凝らし、香りと美味しさを両立した従来にはないお茶の事業計画である。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

現存するびわの葉茶とは異なる新たな市場を広げることを目指して特徴ある商品に育てる事により、従来のびわの葉茶と競合をしない共存出来る商品を作り上げた。紅茶やジャスミン茶の領域にまたがる定番茶としての競争力を有している。



◆市場性

現在のびわの葉茶の市場は、約3億円と見込まれる市場であり、健康茶としての位置付けの範囲である。しかし、本事業計画の「びわ種茶」は、試飲会を重ねて、40代を中心とする女性層の大きな支持を受けており常備茶としての市場性を有している。



従来にない香りと美味しさで新たな市場を目指す。

◆販路

既にある、道の駅、土産物店、百貨店等40店舗の販路を5年間で100店舗以上を目指す。また、観光地長崎の地の利を生かした直営店舗やネット販売の売上を伸ばしていく。長崎のびわのブランド力を活かし、国内外の販路を広げマーケットのシェア率をあげる。

地域資源における関係事業者との連携

茂木、三和地区農家：びわの果実や種の供給を受けている。

長崎県：平成22年、23年度の農商工連携ファンド支援を受けた。

九州大学：共同研究によりデータ分析及び効能などの立証を進めている。

活水女子大学：市場調査、市場にマッチしたパッケージデザインの共同開発。

長崎県中小企業団体中央会：販路開拓等のアドバイスの支援を得ている。